

令和7年度 第1回 安芸太田町地域公共交通会議議事録（要旨）

日時：令和7年8月26日（火）10：00～11：00

場所：安芸太田町役場 大集会室

出席委員：20人中15人

●広域路線バス・町内バスについて

【委員】

- ・町内路線バスの1人平均単価は年間の金額か。
- ・広域路線バスの補助額は利用者と比例しているのか。

【事務局】

- ・平均単価は町の年間の補助額から利用者数で割っている
- ・広域路線バスの年間補助金と利用者数は比例するものではなく補助額は燃料費や人件費などから計算しているもので、増加の要因として、燃料費や人件費が上がっていることが考えられます。

●もりカーについて

【委員】

- ・新公共交通システム「もりカー」を導入後、利用者は増えているが、利用者からの意見は。
- ・「定額タクシー」の時から、相乗り率の向上に取り組まれていますが、「もりカー」の相乗り率は低下しているが、どのような評価をされているのか。

【事務局】

- ・「もりカー」は定額500円で町内移動ができ、目的地から遠い方は、安い金額で移動でき、利用しやすいという意見をいただいている。また、街中の比較的近い距離でもご利用いただいている。これは、移動にかかる時間が短時間で済むからと考えている。
- ・「定額タクシー」は1乗車当たりの700円の定額だったので相乗りすれば割り勘ができた。「もりカー」はバスと同じ公共交通なので1人当たり500円の運賃設定になっているため、相乗りのメリットが感じられず相乗率が低下している状況。また、「定額タクシー」は利用者同士で相乗りをされていたが、「もりカー」は事業者で相乗りをセットする形になります。30分前までに予約をいただいて同じルートであれば相乗りを設定します。同じ時間帯で同じルートの予約が入らないとなかなか厳しいところもあるので、町としても課題として認識している。相乗り率を向上する取り組みは継続的に検討していきます。

●観光路線社会実験の実施について

【委員】

- ・10月から平日の実証実験となっているが、休日と比較すると観光客が減少すると思われるが、平日に行うのはなぜか。また、実証実験後の将来的な展望は。
- ・以前、ガイド付きで野草を見る企画に参加したことがあるが、例えば、八幡湿原の野草についてガイド付きのツアーを企画することもできると思う。期待します。

【芸北地域交通検討委員会】

- ・実証実験に割けるリソースのバランスを考え、平日とした。休日だと、多くの観光客が来るため、協力事業者にもそれぞれの仕事があるので、バランスを考慮して平日とした。今回は記載の案で考えているが、プラスで別の路線の検討も行っている。例えば三段峡から八幡湿原に抜ける2町をまたぐ路線を検討対象にしており、今回の実証実験を踏まえて、今後の検討にしたい。

●ライドシェアについて

【委員】

- ・現在のドライバーの状況はいかがか。
- ・ライドシェアに関する広報が足りていないのではないか。

【事務局】

- ・現在、ドライバー登録者は1人。他にやりたいという方がおられ、現在つばめ交通さんとやり取りをいただいている状況。ドライバーが増えれば、金曜日だけでなく、申請すれば土曜日や日曜日など回数を増やすことも可能ですが、現在は金曜日のみとしています。

●石見交通の運行再開について

【委員】

- ・石見交通さんが新広益線を再開されることに感謝している。車で市内まで運転していくことにハードルを感じることもあるので、運行を再開していただいて本当にありがたい。

(協議事項) 廃止路線代替バス（寺領線）の廃止について

- ・廃止について：賛成多数で可決（地域との協議が整い次第）